

## 平成29年度 第2回瑞浪市化石博物館協議会

日 時 平成29年10月3日（金）

10時00分～

会 場 瑞浪市化石博物館レクチャールーム

### 1. あいさつ

### 2. 報告事項

- 1) 平成29年度事業中間報告について

### 3. 協議事項

- 1) 平成30年度事業実施計画について

### 4. その他

- ・次回化石博物館協議会の開催時期について

## 2. 報告事項

### 平成29年度事業中間報告

#### 1) 教育普及

##### ①企画展の開催（定期展示会開催事業）

名 称 平成29年度第一回企画展「海のない岐阜県からクジラ化石の発見」

期 間 4月29日（土）～5月27日（日）

※期間中入館者：5, 280人

名 称 平成29年度第二回企画展「化石になったキミヨ～な深い海の生き物  
たち」

期 間 7月1日（土）～9月24日（日）

※期間中入館者：7, 668人

##### ②講座等の開催

名 称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）

開 催 日 毎月第1日曜日・第2日曜日（1～3月は第3日曜日）

半日コースは通年（12回）、一日コースは4～11月（8回）。

名 称 夏の体験教室～化石マイスター養成講座～

開 催 日 7月27日（木）、28日（金）、8月11日（金）、20日（日）

講 師 村宮 悠介氏（名古屋大学大学院）：7月27日、28日

安藤瑚奈美氏（名古屋大学大学院）：7月27日、28日

加藤 萌 氏（名古屋大学大学院）：8月11日

高津 翔平氏（岐阜県博物館）：8月11日

石野 沙季氏（名古屋大学大学院）：8月20日

西岡佑一郎氏（早稲田大学）：8月20日

※講座開催に合わせてアンケートを実施した。詳細は別紙のとおり。

名 称 恐竜の模型を作ろう（入門編）（応用編）

開 催 日 8月7日（日） 10時～12時、13時～15時30分

講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）、安藤瑚奈美氏（名古屋大学大学院）

##### ③博物館実習生の受け入れ

期 間 7月25日から7月30日（6日間）

参加者数 4名：岐阜聖徳学園大学、愛知淑徳大学、中部大学、駒澤大学  
業務内容 収蔵庫の整理、講座の手伝いなど  
期 間 8月1日から8月6日（6日間）  
参加者数 2名：愛知学院大学  
業務内容 収蔵庫の整理、講座の手伝いなど

#### ⑤団体対応

●東浦町子ども化石発掘体験教室（東浦町教育委員会）：7月25日（火）、35名

#### ⑥学校との連携

●名古屋市立向陽高等学校国際科学科の連携講座：8月16日（水）、40名

●金城学院大学の講座：7月9日（日）、3名

●名古屋大学博物館、博物館実習：9月19日（火）、15名

#### ⑦出張講座

●第8回みずなみ百縁商店街：4月15日（土）、化石採集体験

●文化財から見た瑞浪通史講座：5月6日（土）、クジラ化石発見の講演、  
文化センター

●花の森自然観察会：5月13日（土）、クジラ化石発見の講演、大湫町公民館

●東海化石研究会例会：6月18日（日）、カニ化石の講演、南生涯学習センター

●FC岐阜ホームタウンデー：10月1日（日）、化石採集体験

## 2) 資料の充実と調査・研究

### ①調査・研究事業（化石資料調査収集事業）

#### （1）調査

●北海道羽幌町：白亜紀のアンモナイト、新生代の貝

7月18日から21日にかけて羽幌町周辺を調査し、白亜系からは、アンモナイト約50点を採集した。中新統金駒内層からは貝化石10点を採集した。

●宮城県仙台市（東北大学総合学術博物館）

瑞浪北中学校工事現場から発見された貝化石を同博物館に収蔵されている化石と比較して鑑定を行った。

#### （2）研究

##### ①学芸員の研究テーマ

●瑞浪北中学校工事現場から産出した無脊椎動物化石の記載学的研究

（担当：安藤、平成30年3月完結）

- 瑞浪北中学校工事現場から産出したクジラ類化石の記載学的研究  
(担当：安藤、群馬県立自然史博物館との共同研究、平成31年完了予定)
- 九州の新生界産カニ化石の研究 (担当：安藤、継続中)
- 生命の樹プロジェクト—十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究  
(担当：柄沢、アメリカ研究者チームとの共同研究)
- ◆下記の論文が出版された。

Schwarzahns, W., F. Ohe, and Y. Ando. 2017. An Early Oligocene fish-fauna from Japan reconstructed from otolith. *Zitteliana* 90, 3-26.

Karasawa, H., Y. Mizuno, K. Hachiya, and Y. Ando. 2017. Reappraisal of anomuran and bracyuran decapods from the lower Miocene Morozaki Group, Japan, collected by the Tokai Fossil Society. *Bulletin of the Mizunami Fossil Museum* 43: 47-69.

安藤佑介・河野重範. 2017. 鹿児島県南種子町に分布する下部更新統増田層から産出した十脚類化石. 瑞浪市化石博物館研究報告第43号: 83-92.

Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, and H. Karasawa. 2017. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8O: Systematic descriptions: Section Torynommoida. *Treatise Online* 94: 1-2.

Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, H. Karasawa, O. Frantescu, and A. A. Klompmaker. 2017. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8P: Systematic descriptions: Section Etyoida. *Treatise Online* 95: 1-9.

Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, and H. Karasawa. 2017. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8R: Systematic descriptions: Section Cyclodorippoida. *Treatise Online* 96: 1-5.

Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, and H. Karasawa. 2017. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8O: Systematic descriptions: Section Torynommoida. *Treatise Online* 97: 1-6.

## ②古生物データベースの更新 (資料検索システム管理経費)

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。現在、約3300点の標本が登録されている。

## ③化石博物館研究報告の発行 (定期研究報告発行事業)

平成30年2月に44号を出版予定である。現在5編 (アメリカ2編、オランダ1編、日本2編) の論文が投稿されている。また、本号では「瑞浪北中学校敷地造成工事現場から産出した化石たち」と題した特集ページを組む。本ページには北中学校工事現場から産出した各化石の研究論文を掲載する。また、一般の方用のページも設ける。予定では10編の論文が投稿される (現

在うち4編がほぼ完成している)。

3) 展示資料等の購入 (展示備品等購入事業)

- 薬品等保管用冷蔵庫を購入した。 購入費：約50,000円
- 化石試料の精密なクリーニングを行う為のマイクロツールを購入した。  
購入費：約70,000円

4) その他、博物館施設の充実

①ミュージアムグッズの製作

- 来館者の希望のあったキーホルダーを7月に3種類製作した。  
製作費：約25万円

②図書コーナーの設置

- 機器の劣化が激しかった「瑞浪の自然」コーナーを廃止し、来館者からの要望が多かった図書コーナーを展示室に設置した。  
設置費用 (本棚代等)：約13万円

③自販機の設置

- かねてより要望が多かった自販機であるが、本年7月に設置を行った。  
運営は、手をつなぐ育成会 (福祉団体)。

## 資料

平成29年度入館者数

(単位：人)

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計	平成28年度	比較
4	792	645	72	107	1,616	1,652	-36
5	2,648	2,027	181	364	5,220	5,637	-417
6	617	432	32	84	1,165	1,844	-679
7	1,085	764	168	305	2,322	2,557	-235
8	1,905	1,524	175	454	4,058	4,266	-208
9	808	481	108	42	1,439	2,436	-997
合計	7,855	5,873	736	1,356	15,820	18,392	-2,572

平成29年度みずなみ化石教室参加者

(単位：人)

半日コース		一日コース		上級コース	
開催日	受講者数	開催日	受講者数	開催日	受講者数
4月23日	32	4月23日	30		
5月14日	30	5月14日	26	5月27日	5
6月4日	30	6月4日	26		
7月16日	31	7月16日	30		
9月10日	29	9月10日	30		
開催日数 5日	152	開催日数 5日	142	開催日数 1日	5
					計 299人

平成29年度各講座受講状況

(単位：人)

講座名	開催日	受講者数	定員
夏の化石教室①	7/27	22	25
夏の化石教室②	7/28	25	25
夏の化石教室③	8/11	23	25
夏の化石教室④	8/20	24	25
恐竜の模型を作ろう (入門編)	8/6	24	20
恐竜の模型を作ろう (応用編)	8/6	14	15
合計		132	135

### 3. 協議事項

#### 平成30年度事業計画

##### 1) 普及活動の充実

###### ①企画展の開催（定期展示会開催事業）

名 称 平成29年度\*第三回企画展「学校の工事現場からの発見」  
期 間 3月17日（土）～5月13日（日）（※年度をまたいで実施する）  
目 的 瑞浪北中学校工事現場から見つかった化石の紹介を行う。  
展示概要 瑞浪北中学校工事現場から見つかったエゾイガイやクジラの化石について、研究報告第44号出版に合わせて3月までに明らかになった事実を紹介する、事前に記者発表を行い、企画展についての広報も行う。

名 称 平成30年度第一回企画展「瑞浪市化石博物館の研究～新種となった化石たち～」  
期 間 7月7日（土）～9月30日（日）  
目 的 化石博物館の研究成果を紹介する。  
展示概要 化石博物館の研究活動によって新種となった化石を展示するとともに、そのエピソードなどを紹介する（レクチャールーム2/3を使用）。

名 称 平成30年度第二回企画展「鉱物の世界」  
期 間 11月3日（土）～1月27日（日）  
目 的 美しい鉱物の世界を紹介する。  
展示概要 化石博物館が所有する鉱物標本を展示する（1/2）。

###### ②講座等の開催（定期講座開催事業）

名 称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）  
概 要 小学校中学年以上を対象とし、化石博物館ボランティアの解説・指導により野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり＋化石のクリーニング（1日コース）を行う。

開 催 日 毎月1回

定 員 半日コース：30名、一日コース：30名

参加費 半日コース 一般：300円、高校生以下：100円

一日コース 一般：700円、高校生以下：500円

名 称 みずなみ化石教室上級コース  
概 要 少人数による化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。  
開 催 日 5月26日(土)、10月20日(土)  
条 件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者  
定 員 15名  
参 加 費 一般：1000円、高校生以下：800円  
(入館料、教材費、保険代含む)

名 称 夏の化石教室  
概 要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。  
開 催 日 7月26日(木)、27日(金)  
8月10日(金)、8月19日(日)  
時 間 9時30分から15時30分  
定 員 25名  
参 加 費 一般：1,000円、高校生以下：800円  
(入館料、教材費、保険代を含む)  
講 師 西岡佑一郎氏、石野沙季氏、加藤萌氏、安藤瑚奈美氏、当館学芸員

名 称 恐竜の模型を作ろう(入門編)  
概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。  
開 催 日 8月5日(日)  
時 間 10時～12時  
定 員 25名  
参 加 費 一般：1000円、高校生以下：800円  
(入館料、教材費、保険代を含む)  
講 師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

名 称 恐竜の模型を作ろう(応用編)  
概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。  
開 催 日 8月5日(日)  
時 間 13時～15時30分  
定 員 20名  
参 加 費 一般：1500円、高校生以下：1300円  
(入館料、教材費、保険代を含む)  
講 師 徳川広和氏(恐竜模型作家)



名 称 コハクの原石を磨こう！  
概 要 瑞浪でも見つかっているコハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。  
開 催 日 10月28日（日）、11月25日（日）  
時 間 13時から15時30分  
定 員 25名  
参 加 費 一般：1500円、高校生以下：1300円  
（入館料、教材費、保険代を含む）  
講 師 マイケル・クツ氏（コハクアーティスト）

名 称 小さな化石モンスターを探せ  
概 要 洞窟の堆積物から哺乳類化石を拾い出し、種同定を行う。化石を観察し、哺乳類の進化について学ぶ。  
開 催 日 11月18日（日）  
時 間 13時から15時30分  
定 員 20名  
参 加 費 一般：800円、高校生以下：600円  
（入館料、教材費、保険代を含む）  
講 師 西岡佑一郎氏（早稲田大学）

名 称 講演&ワークショップ「カンブリアモンスターをよみがえらせよう！」  
概 要 カンブリア紀の古生物の復元模型に彩色を行う。  
開 催 日 12月2日（日）  
時 間 10時30分から12時30分、13時30分から15時30分  
定 員 各回20名  
参 加 費 一般：1000円、高校生以下：800円  
（入館料、教材費、保険代を含む）  
講 師 大路樹生氏（名古屋大学博物館）・徳川広和氏（古生物模型作家）

名 称 化石を使ってアクセサリを作ろう！  
概 要 ウソシジミをノジュールから取り出し、鉱物などでデコレーションしたものをレジンで封入して標本を作製する。紐を通せばネックレスにもなる。  
開 催 日 11月4日（日）、12月16日（日）  
時 間 10時から12時、13時から15時  
定 員 各回20名  
参 加 費 一般：700円、高校生以下：500円（材料費、入館料、保険代を含む）  
講 師 当館学芸員

出前授業・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要請があった場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらおう。また、要望があった場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。

開催日 要望があった場合は随時（要予約）

講師 当館学芸員

対象 小学4年～中学3年

③博物館実習生の受け入れ

概要 7月下旬から1週間、実習生を受け入れる。

期間 平成30年度は7月24日（火）から7月29日（日）を予定。

2) 資料の充実と調査・研究

①調査・研究事業（化石資料調査収集事業）

(1) 調査

- 鹿児島県薩摩川内市市：甌島の十脚類化石の調査、採集（5月）

※熊本大学と共同研究

(2) 研究（継続）

- 瑞浪北中学校工事現場から産出したクジラ類化石の記載学的研究  
（担当：安藤、群馬県立自然史博物館との共同研究、平成31年完了予定）
- 九州の十脚甲殻類（エビ・カニ）化石の研究（担当：安藤）
- 生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究  
（担当：柄沢、アメリカ研究者チームとの共同研究）

②古生物データベースの更新（資料検索システム管理経費）

引き続き収蔵資料のデータベース登録を行う。

③化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

平成31年3月に化石博物館研究報告第45号を300部発行し、国内及び海外の博物館・研究機関等へ送付する。

### 3) 展示資料等の購入（展示備品等購入事業）

#### ①展示用化石標本等・図書類・研究用備品の購入。

- 図書コーナー用図書：5万円

- 北中学校から産出したクジラの復元画：50万円（小田隆氏製作）

120cm×70cmに親子2頭。常設展示室のクジラ化石コーナーに設置。展示以外でも郷土の歴史を紹介する資料になる。化石ガイド、出張授業、新聞発表の際に活用。新博物館でも展示可能なため、長期間活用できる資料となる。

#### ②博物館コンテンツの充実

- 瑞浪北中学校工事現場から発見されたクジラ類化石とエゾイガイ化石を常設展に展示。新たに展示台を製作する（総製作費：20万円）

- デジタルサイネージの導入

イベント情報や映像コンテンツの上映等を目的とし、デジタルサイネージ2台を購入、1台はエントランスホールに常設し（32V型：9万円）、1台を常設展示室のクジラ化石コーナーに設置（55V型：18万円）、発見時の動画や解説、復元画等を上映する。

- タブレットPC

来館者への説明やイベント時の説明、出張授業等で活用。2台を購入予定。（1台8万円）

### 4. その他